

「平成30年度『学びのスタンダード』推進事業」の推進地域の取組

パイロット校名	白河市立白河第二中学校 白河市立みさか小学校
推進協力校名	白河市立白河第二小学校

学びに向かう力を育てるために（2年次） ～生徒の学習意欲に着目した学習過程の充実をとおして～

白河市では、白河市立白河第二中学校（パイロット校Ⅰ）、白河市立みさか小学校（パイロット校Ⅱ）、白河市立白河第二小学校（推進協力校）の3校が、学びのスタンダード推進事業に取り組んでいる。

それぞれが市の中心校として、研究公開を行い授業改善と指導力向上の成果を発表している。「学びのスタンダード」推進事業の2年目は、昨年度の内容を改善し「授業スタンダード」を研究のベースに置きながら白河第二中学校では「生徒の学習意欲に着目した学習過程」を、みさか小学校、白河第二小学校では「4つの指導技術」を通して授業改善に取り組んだ。

1 パイロット校の取組内容

(1) 中学校数学科におけるタテ持ちの取組

数学科のタテ持ちの取組については、以下の通りである。

- ① 右の図のように4名の教員で全ての学年を担当した。
- ② 時間割に教科部会を位置づけ、授業づくり・進度等について話し合った。
- ③ テストの作成や丸付けをローテーションで進めた。

	1組	2組	3組	4組	5組	6組
1学年	B	C	A	C	C	
2学年	B	D	A	D	B	C
3学年	A	B	B	C	D	A

【今後に向けて】

- ・ ベテランが若手を育成する意識を持ち、授業に使用する教材、練習プリント等を蓄積、共有する。
- ・ 教科における「生徒の学習意欲に着目した学習過程」の工夫を、より具体的に示し共通実践を図る。

(2) 小学校の教科担任制の取組

昨年度よりさらに実践の範囲を広げ、3年生以上で一部教科担任制を取り入れた。それぞれの担任の専門教科などを考慮しながら話し合っ決定し、実践した。4年生以上の理科と3年生以上の外国語は専科の教員が担当した。

子どもたちからは、「いろいろな先生とできて楽しい。」「前より分かるようになった。」という声がある

(例) 3年生の時間割

A: 1組担任 B: 2組担任 C: 教頭 D: 英語専科

教科	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	外国語	道徳	総合	学活
時数	215	30	70	175	90	60	60	105	35	35	70	35
1組	A	C	A	A	A	A	A	AB	D	A	A	A
2組	B	C	B	B	B	B	B	AB	D	B	B	B

反面、「聞きたいときに時間が限られてしまう。」「担任の先生ではない先生には、質問しづらい。」という声もあった。教員からは、「1回の教材研究で複数のクラスに授業ができるので、1回毎に授業を反省・修正することができる。」「時間割編成に時間がかかる。」との声があった。

(例) 4年生の時間割

A: 1組担任 B: 2組担任 C: 理科専科 D: 英語専科

教科 時数	国語 215	書写 30	社会 90	算数 175	理科 105	音楽 60	図工 60	体育 105	外国語 35	道徳 35	総合 70	学活 35
1組	A	A	A	B	C	A	A	AB	D	A	A	A
2組	B	B	B	B	C	B	B	AB	D	B	B	B

(3) 推進教師の役割と具体的な取組

- ①「授業スタンダード」の活用の推進 ②校内研究の推進 ③学び合う会の計画・運営
※「学び合う会」・・・中堅やベテランの教師から実践を発表してもらう研修会。

2 推進協力校の取組内容

(1) 「学びのスタンダード」推進事業に伴う要請訪問の実施

- 「学びのスタンダード」推進事業推進協力校の指定を受け、年間4回の要請訪問を行った。本校では、4教科（国語科・社会科・算数科・理科）と特別支援教育の研究を推進してきた。今年度は「学びのスタンダード」の内容を踏まえ、4教科それぞれの教科特有の



【構造的な板書】

学びに基づいた実践について、授業研究を通じた検証を行った。事後研究会では、県南教育事務所の各教科の担当指導主事より、授業内容や指導法についてたくさんの指導をいただいた。また、授業のみならず、授業周辺部や学級経営等に役立つアドバイスや資料もいただき、たいへん実りのある研修の機会となった。

(2) 「授業スタンダード」の位置付け

- 白河第二小学校では、「授業スタンダード」の内容に関連する取組として、現職教育でこれまで研究してきた本校の「授業スタンダード」とも言える『授業を変える12の視点』及び『4つの指導技術』を再度意識した授業づくりを心がけ、教師の指導力の向上を図り、子どもたちの主体的学習態度と学び方を育ててきた。

昨年度より、全ての学級・全ての教師が同じ指導ができることを目指し、『4つの指導技術』に重点を置き、日々の授業の中で取り組んできた。『4つの指導技術』が共通実践事項として徹底した取組となるよう、4月の第1回研究推進全体会で共通理解を図り、5月初めに『4つの指導技術』に重点を置いたパイオニア全体授業と事後研究会を行った。また、研修日より『一座建立』において、『4つの指導技術』についての解説や事例紹介、各研究授業の授業評による実践内容の検証を行ってきた。



「発問の完全成立」「発問への完全反応」

(3) パイロット校と連携した「授業スタンダード」に基づく授業公開について

- ・ みさか小・白河二中の授業公開に4教科の教科主任と研修主任が参加した。授業参観後の事後研究会にて、他校の先生方との交流の場を積極的に活用し、「授業スタンダード」を視点を授業づくりと子どもの学びについて意見交流をする機会を持つことができた。
- ・ 現職教育の全体授業として『指定授業』を年4回（国語・社会・算数・理科）位置付け、パイロット校2校（みさか小、白河二中）以外にも、県南地区の小・中学校全校へ案内を出し、研修の機会として活用できるようにした。パイロット校のみならず、県南地区の小・中学校より参観者があり、授業に対する感想をいただく機会となった。

3 成果と次年度へ向けて

(1) 成果

- 教科担任制により児童の学習意欲が高まり、内容理解も深まった。
- 「授業スタンダード」を活用し、基本的な指導技術を再確認することができた。
- 話合いの効果的なコーディネートを常に意識して授業に臨むことができた。
- 授業研究を通して、教員同士の学び合いが活発になった。
- 家庭学習の習慣化・内容の充実が図られた。
- 時間割に教科部会を位置付けたことで、評価や進捗等について共通理解が図れた。
- 放課後の学習会の実施は学習意欲の向上や下位の底上げに効果的だった。
- 互いにより良い授業を目指して学び合う意識が向上した。
- 学び合う会については、若手の教員を中心に毎回10名以上の教員が参加した。実際に参加している教員からは「先輩の先生方から学べる機会はととてもありがたい」「普段の悩みを聞いてもらったりしてとても有意義な時間である」など、教員集団の同僚性が高まり、互いに学び合おうとする実践意欲が高まった。

(2) 次年度に向けて

- 実態に合った手立ての重点化
- 学校全体での基本的な学習のしかたの徹底
- 「家庭学習スタンダード」の活用
- 家庭学習の手引きの作成・活用
- タテ持ちの更なる充実と実践（教材や練習プリントの共有）
- 専門性の問題や時数の問題等について検討した教科担任制の実践

みさかっ子のきまり (がくしゅうへん 学習編)

授業の始まる前

- えんぴつ・けしごむ・じょうぎ・赤青えんぴつ (ボールペン)、ノート、教科書など必要なものだけを机に出します。(筆入れは机の中にしまっておきます。)
- 時計を見て、授業の始まる前に席に着きます。

あいさつ・しせい

- 授業の始めと終わりには、心をこめてあいさつをします。
- よい姿勢で学習します。(足はぺったん、背中はピン、おなかとせなかにグーひとつ。)

話し方

- 発表するときは、手を挙げて、指名されてから話します。
- 指名されたらしっかり返事をします。
- 相手(クラス全員、グループ、ペアなど)が聞こえるように、声の大きさを考えて、相手の方を見て話します。

聞き方

- 話す人の方を見て、話の終わりまでしずかに聞きます。

★ 目と耳と心で「聴^きく」しせいを大切に！

ノートの取り方

- 月日、曜日、ページなどを書きます。
- 文字はていねいに書きます。
- 線はじょうぎでひきます。
- めあては赤、まとめは青でかこみます。

よいしせい



話し合いの仕方

- 自分の考えを分かりやすく伝えます。
- 自分の考えと友だちの考えを比べながら聞きます。(「同じだ」、「少し違う」、「反対だ」など)

学習用具のきまり

- えんぴつは 2B~HB のものを使います。うすくならないようにします。
- 1・2年生は赤・青えんぴつを使います。3年生以上は赤・青ボールペンを使ってもいいです。切り替え式のペンは、3色ていどまでにします。(赤・青・黒)
- シャープペンシル、可動式の定規、飾り付きのえんぴつ、消えづらい消しゴムは使いません。
- 下じきはできるだけ無地に近いものを使います。
- 学習に必要なものは持ってきません。
- 持ち物には名前を書きます。





研修だより

みさか小学校 研修部

NO 4

平成30年7月3日(火)

第1・2回・外国語授業研究会お疲れ様でした！

先週は、研修盛りだくさんの週でした。授業を提供して下さった〇〇先生、〇〇先生、〇〇先生、お忙しい中、素晴らしい授業を見せてくださり、本当にありがとうございました。また、ブロックの先生方も指導案の検討から、事後研究会まで大変お世話になりました。どの授業も充実した研修の場となりました。簡単ではありますが、以下、事後研究会で出された主な内容についてご紹介いたします。詳しくは記録のコピーを添付しましたので、そちらをお読みください。

〇年〇組 国語 〇〇 〇〇先生 6月25日(月) 3校時

- 〇 子どもたちのつぶやきが多い。日頃の先生との信頼関係がとても良いことがうかがえる。規律の中にも自由がある。
- 〇 45分時間ぴったり！
- 〇 コーディネートでは、つぶやきを拾って、「おやっ?」「んっ?」と思ったときに、そこで立ち止まり、付き合うことも大切。
- 〇 「自分が質問されたら答えが思い浮かばない・・・」時は、課題の見直しが必要。子どもの反応を必ず予想してそれに対する手立てを考えておくことが大切。



〇年〇組 国語 〇〇 〇〇先生 6月27日(水) 3校時

- 〇 子どもたちの書くことに対する意欲が、素晴らしい！日頃のご指導の賜物。
- 〇 学習規律がしっかりとされていて、学級の雰囲気が大変良い。やっぱり学級経営がすべての基盤。
- 〇 教師の評価(「これいいね。」)は、子どもたちの話し合いの中で導き出されていくとよい。



〇年〇組 外国語 〇〇 〇〇先生 6月28日(木) 5校時

- 〇 荒井先生らしさがあふれる授業。ICTの活用、テンポのよさなど大変素晴らしい。
- 〇 学級担任ではないのに信頼関係がしっかりとできていた。子どもたちが生き生きと楽しく活動していた。
- 〇 なかなか難しいが、目的・場面・状況を整えることが大切。
- 〇 学習の流れが明示されていることは特別支援的にも有効。





研修だより

みさか小学校 研修部

NO 6

平成30年10月4日(木)

第3・4・5回授業研究会お疲れ様でした！

大変遅くなってしまいましたが、9月の3つの校内授業研究会、授業を提供して下さった、〇〇先生、〇〇先生、〇〇先生本当にありがとうございました。今回も、授業を通してたくさんの方の学びができました。今頃になってしまいましたが、振り返りをまとめてみました。

〇年〇組 算数 〇〇 〇〇先生 9月11日(火) 3校時

- 〇 基盤である学級の雰囲気がとてもよかった。子どもたちの関係性がよく、グループでの話し合いの様子がとてもよかった。必要なことをアドバイスし、聞き合う姿が見られた。全体での話し合いも聞く姿勢が大変よく身についていた。
- 〇 修学旅行のお土産を導入に持って来たのは子どもたちの興味関心を高めるのに有効だった。
- 〇 表にまとめる方法に絞って気付きをうながす方がより分かりやすかったのではないか。
- 〇 子どもたちに書かせた表はあらかじめもう少し大きい物を作って置いた方が良かった。



〇年〇組 算数 〇〇 〇〇先生 9月13日(木) 3校時

- 〇 授業前のこま遊びが、本時の授業に生きていた。心棒が真ん中でないこまも用意してあったのがとても有効だった。
- 〇 コーディネートの場面では、大切なことを先生が簡単にまとめずに全体に返して児童から意見を引き出していた。
- 〇 班での話し合いは、できる班とできない班があった。話し合いの仕方の指導もできるとよい。



〇年〇組 算数 〇〇 〇〇先生 9月14日(金) 3校時

- 〇 子どもたちのキラキラとした表情に心洗われる授業だった。
- 〇 導入の電車ごっこは、子どもたちの学習意欲を高めるのに有効だった。このような楽しい授業を積み重ねていけば、算数大好きな子どもが育つ。
- 〇 見通しがちょっと長かった。もう少し短くできると良かった。



アンケート、外国語授業参観お願いします！

- 〇 「学習意識調査」、「家庭学習・学校生活アンケート」、それぞれ2回目の実施・集計をお願いします。また、教師用の「授業スタンダードアンケート調査」の方もご記入いただき、研修の方へご提出ください。お忙しい中、申し訳ありませんが、公開の資料としますので、**10月15日(月)まで**にお願いします！
- 〇 10月15日(月)5校時の〇〇先生の2回目の外国語の授業研究会は、前回参観していない先生方は今回参観をしてください。